

収入保障し残業時間削減

家族むけ福利厚生充実

丸大トラック

【北海道】丸大トラック(比良友彦社長、北海道小樽市)は、「従業員が家族に誇れる会社」を目指し、労働環境改善に注力している。前年度の収入を保障した上で残業時間を削減し、余暇を家族のために使ってもらえるようにしたほか、長期入院時に所得を保障する保険制度に加入し、万が一の事態に対応できる環境を整備。また、家族に向けた福利厚生の充実にも積極的に取り組んでいる。(高清水彩)

ドライバー健康管理強化

同社は働き方改革への取り組みの一環として、残業時間の削減を推進。残業の有無にかかわらず、前年度の給与を保障することを決

め、従業員に早めの退社を促した。「趣味や家族と過ごす時間を増やして欲しい」(運転者職場環境良好度認

証)を取得した。

更に、2020年度は期末賞与を支給。労働時間が短くなった上に、前年度より給与の総支給額が上がったことで、従業員のモチベーションの向上につながっている。



17年に導入した団体長期障害所得補償保険(GLD)では、病気やケガで入院した際や、治療と仕事を並行した場合の給与所得を安定化。いざという時に備え、安心できる環境を整えている。

コメや温泉入浴券のプレゼントなど、従業員の家族に向けた福利厚生をそろえる中、特に喜ばれているのは、毎年8〜9月に従業員と家族を招待して行う納涼会だという。豪華な食事を振る舞うほか、大型テレビ



オリジナルユニホームを着てトラックの前に並ぶ従業員

などの高級家電や商品券がもらえる良い機会にもなっている。

今後は、ドライバーの健康管理を強化する予定で、現在行っているインフルエンザ予防接種の全額負担に加え、脳ドックでも費用負担を検討。また、生活習慣病の予防や運動不足解消のため、トレーニング器具を並べたジムを自社倉庫内に設け、従業員が気軽に運動できる施設をつくる計画も進めている。

働きやすい職場認証について、比良氏は「認証取得に必要な項目はほぼ満たしていたので、申請以外に特別なことはしていない。審査基準を見ながら自社の改善点を探っていくツールとして制度を活用していきたい。また、取得企業であることを荷主にもPRし、お互いが働きやすい職場をつくれるような交渉にもつながれば」と話している。